

WAKAYAMA NORTH ROTARY CLUB

2025 年 2 月 17 日 第 1983 例会 VOL.47 No.26 通算 1987 号

2024-2025 年度
 国際ローター会長 ステファニー A. アーチック
 第 2640 地区ガバナー 野村 壮吾

[例会日] 毎週 月曜日 12:30~13:30
 [例会場] 和歌山市七番町 26-1 ダイワロイネットホテル和歌山 4F
 [事務局] 和歌山市広瀬通丁 3-13-2 コスモ広瀬 1F (〒640-8113)
 TEL 073-432-5260 / FAX 073-488-6665
 HP(URL) <http://www.wkitarc.sakura.ne.jp>
 E-mail : wnrcinfo@oak.ocn.ne.jp



2024-25 年度 和歌山北 RC のテーマ 会長 田邊 昌也

『少数精鋭・みんな仲良く・二本の柱』

会長：田邊昌也 友好クラブ
 幹事：森本芳宣 水戸東 RC
 会報委員長：中村博道

2 月ローターレート：1 \$ = 154 円

☆ 平和構築と紛争予防月間 ☆

----- プ ロ グ ラ ム -----

- ◇開会点鐘 12:30
- ◇RC ソング「それでこそローター」
 ソング委員長：寺本尚弘君
- ◇ご来客紹介 親睦活動委員長：寺本尚弘君
- ◇出席報告 出席委員長：寺本尚弘君
- ◇会長・幹事・委員会・SAA 報告
- ◇新会員卓話 12:30~13:30
 於：ダイワロイネットホテル和歌山
 「編集長から見た和歌山ラーメン史」
 大橋二也会員
- ◇閉会点鐘 13:30

----- 次回の例会 3 月 3 日 (月) -----

第 1984 回例会
 ☆新会員卓話 「未定」大橋二也会員

----- 前回の例会報告 2 月 10 日 (月) -----

第 1982 回例会
 ○出席報告 (会員総数 20 名 免除 2 名)
 ○出席会員：13 名 出席率：72%
 ○1 月 27 日 (月) Make Up 後の出席率：78%

----- ビジター報告 寺本尚弘君 -----

合計 0 名

● 会長挨拶

会長 田邊昌也君



前回に引き続き心に残る言葉を
 紹介したいと思います。
 今週紹介する言葉は「難しいそ
 うなことは楽しみも多い」で
 す。

出展 上岡龍太郎「引退一嫌わ
 れ者の美学」よりです。僕は、

今年の夏休みに、読書感想文を書くため、親から
 借りた本を読んでいた。僕はこの本がなかなか面
 白いため、読書感想文もすぐに終わるだろう。そ
 んな事を考えながら本を読み進めていた。そして
 どこかのページでこの言葉と出会った。この言葉
 を見た時、最初は「難しいんだから楽しくはない
 だろう。」と思った。しかし、本を読んでから「先
 に実践した人がこの楽しさは他に教えたくないか
 ら、難しい事だと思わせる。」ということだと思
 い、僕は非常に感心した。それから僕は少しだけ
 難しそうな事に挑戦している。

この本に書いてあったように、難しいことの中
 にある楽しみを見つけるためだ。

【受賞にあたって】

文章を書くことは最近楽しいと感じるようになり
 ました。中学に入ってたくさんの言葉を覚えて、
 使うのが面白いと思うからです。今、挑戦してい
 るのは、中学になって入部した吹奏楽部で担当す
 るチューバです。初めの頃は音を出すこともでき
 ませんでした。続けているうちに少しずつです
 が楽しみを見つけれられるようになってきました。
 中学部門 西宮市立今津中学 大場 将生さん。
 この本は私も読みました、上岡龍太郎さんの自伝
 の小説と思います。ありがとうございました。

四つのテスト (言行はこれに照らしてから)

I. 真実かどうか II. みんなに公平か

III. 好意と友情を深めるか IV. みんなのためになるかどうか



● クラブフォーラム ●
「平和構築と紛争予防月間にちなんで」
国際奉仕委員会：和田耕司委員長



2月には平和構築と紛争予防月間という事で少しお話をしたいと思います。これは、第2次大戦日本とアメリカが戦った時のお話です。現代でもロシア、ウクライナが戦争していますが、ジョージ・武井という日系アメリカ人で最も有名な俳優さんです

が、ご存じないですか？武井さんは、SF作品「スタートレック」のアジア人船員、ヒカル・スール役として日本でも有名ですが、幼少期に受けた人種差別についてはあまり知られていません。武井さんは今87歳です。本業は俳優でミュージカルもやりますし、本の執筆や講演など、現役として今も忙しい日々を過ごしています。父、タケクマは山梨県生まれで、連れ合いを亡くした自身の父親、長兄と一緒に12歳の時に3人で渡米し、サンフランシスコで大学教育まで受けました。その後ロサンゼルスへ移り、高級住宅街ウィルシャー地区ドライクリーニング店を開業。母、フミコはサクラメント(カリフォルニア州)生まれですが、就学前に祖父の実家があった広島へ送られて、日本で教育を受けました。学校を卒業後米国に戻った、いわゆる帰米です。父は日本語も英語も堪能でしたが、母の英語は亡くなるまで日本語訛りがありました。二人はロスで知り合い、当時街で一番高層だった市庁舎の27階で市役所職員立ち会いの下、結婚しました。父は英国びいきだったので、僕が生まれた3週間後に即位したジョージ6世のように威厳のある人になるようにと僕をジョージと名付けました。真珠湾攻撃。公然と向けられる日系人への憎悪、不自由な生活をしていた時、日本軍が真珠湾を攻撃しました。その時の様子を教えてください。一軒家で平穏な生活を送っていました。父は仕事の合間を縫って、僕と弟のヘンリー、妹のレイコに本を読んでくれたり、外で遊んでくれたりしました。近所に住んでいた金髪のドナルドが「ジョージと一緒に遊んでもいい？」と言って家に来ることが週に2、3回ありましたよ。僕はまだ小さかったので良く分かりませんでしたが、大人同士の会話に「パールハーバー」という言葉が頻繁に出て来たのは覚えています。日系人に対する憎悪や差別が、新聞やラジオで公になっていったのは間違いありません。真珠湾を攻撃したのは大日本帝国。私たちはアメリカ生まれの、れっきとした米国市民であるにもかかわらず、敵国となった人達と同じ外見をしているというだけで攻撃の対象になったのです。1942年2月19日、ルーズベルト大統領が大統領令9066号を発令。軍事的必要性を根拠に西海岸の特定地域

から在留邦人と日系人を立ち退かせる権限を軍に与えました。両親によれば、わが家の銀行口座は凍結され、家財は全て二束三文で売り、愛車も近所の人にとった5ドルで売ったそうです。僕は当時5歳。ある朝、銃を持った兵士が家のドアを乱暴にたたき、手に持てるわずかな荷物だけを持って外に出るよう命じました。それから、バスでロス郊外のサンタ・アニータ競馬場へ送られました。馬のふん尿が鼻にツーンとくる馬房を住まいとして与えられたんです。本当にひどかった。でも、子供の僕と弟のヘンリーは、うちの馬房が大食堂に近かったのでうれしかった。食べ盛りでしたから、いつも大食堂に一番乗りでした。数か月後、また荷物をまとめ、今度は列車に乗るよう命令されました。「これからどこへ行くの？」と父に聞くと「田舎へ長いバケーションに行くんだよ」と。子煩悩だった父が、列車の長い旅の間ずっと黙って深く考え込んでいました。小さな子供3人を抱え、将来への不安で打ちのめされそうになっていたのかもしれませんが。3日後にたどり着いたのは、アーカンソー州ローワー強制収容所。全米10カ所に建設された収容所のうち、最も東にあります。そこは有刺鉄線に囲まれ、見張り台にはいつも兵士がいました。収容された私たちに銃を向けてね。私はここを「プリズン(刑務所)・キャンプ」と呼びます。ただし、受刑者は誰一人としていませんでしたよ。裁判も何もなしに、投獄されたんですから。到着して割り当てられた部屋に入ってから、列車の中で沈黙を貫いていた父が一念発起したように周りの人の手助けを始めました。荷物運びを助けたり、到着したばかりの家族にベットやマットレス、椅子を運んであげたり。同じ境遇に置かれた同胞が困っているのに、何もせずにはいられなかったんですね。父は当時39歳で日系一世の人の中では若かったんですが、日本語も英語も上手だったのでブロックマネージャーに選出されました。仲間の希望や苦情を米軍に伝えたり、米軍の要求をみんなに説明したりする橋渡し役を務めたのです。例えば、ある夏の晩、豪雨になり、そこら中の道が泥沼状態で、お年寄りや足の不自由な人は大食堂やトイレに行けず困惑していました。父はすぐに倉庫から不要な木材を見つけ、他の青年たちと板張りを作りました。豪雨は今にも落ちてきそうな雷を伴ってとても怖かったですね。そんなふうにはいつも不在だったため、僕たちは本当に寂しかったですよ。ローワーでの一番の思い出は、僕の家族だけ特別に外出許可が出た時のこと。ジープに乗って収容所から外に出てドライブ。父がどうやってそんなことを可能にしたのか…。母はその日のために、妹のレイコとおそろいのスカーフとドレスを作っていました。本当に楽しかったなあ。そのドライブで、ホッグという大きな豚を育てている農家を訪ねましたよ。ローワーに

来て数カ月後に大事件が起きました。「忠誠心テスト」が課されたんです。中でも一番問題になったのが、質問事項 27 番の「米軍に入隊し戦闘地に赴き任務を遂行するか？」と 28 番の「米国に無条件の忠誠を誓い、日本の天皇や他国政府への忠誠を拒否するか？」という二つの質問。父は日本国籍。小さな子供 3 人を置いて出征などできません。母は米国籍でしたが、一家 5 人が離れ離れになることは絶対に回避したかった。ですから、僕の両親は 2 人ともこの二つの質問に「No, No」と答えました。それにより、いわゆる「No No Boys」として、最嚴重警備のトゥーリーレイク強制収容所へ送還が決まりました。カルフォルニア州の最北、オレゴン州との境にあり、強制収容所の中では最大の約 1 万 8,000 人が収容されました。楽しい事のあったローワーとは異なって、トゥーリーレイクはいつも激しい騒乱状態で、みんなピリピリしていました。「奉仕団」と称する右翼グループが、別のグループの会員を襲撃したかと思うと、今度は被害に遭ったグループ側が個別行動している奉仕団を襲撃。常にうわさが飛び交い、バラックの住居では内緒話も出来ないのも、両親は遠くにある別の地区まで長い距離を歩いて行って、顔見知りがない場所で夫婦の会話をせざるを得ませんでした。帰ってきたら何も残っていませんでした。戦争が終わり、強制収容はどうなりましたか？ 1945 年 8 月始め、母の両親、それに叔母やいとこが移住していた広島に、これまで見た事のない巨大爆弾が投下されたというニュースが所内に流れ、母は心配で居ても立っても居られない状態でした。父はトゥーリーレイクでもブロックマネージャーを頼まれ、「日本降伏」を大食堂でみんなに伝えなければなりません。「うそだ。日本が負けるはずがない！」と叫ぶ右翼青年がいる中で、勇気のいる役割だったと思います。収容所の閉鎖が知らされ、職があるニューヨークやシカゴなどの大都市へ向かう家族も多かったです。強制収容が実施されなかったユタ州ソルトレイクシティに住んでいた父の兄が来るよう勧めてくれましたが、私の両親は長く住んだロスへ戻ることを決心。その年のクリスマス前に、先に父が単身ロスへ戻りました。その頃のロスで日本人を雇ってくれたのはアジア系の移民だけ。チャイナタウンの中国人が皿洗いとして父を雇いました。1946 年の春、「住む場所と仕事が見つかったからロスへ来るように」と父から連絡があり、母、弟、妹と僕の 4 人はアメリカ政府が支給した列車の片道切符と、一人 25 ドルを手に入れたロスへ向かいました。新居はスキッドローというホームレスが住む一角にある安ホテルの一部屋。母が一番衝撃を受けていました。その後、父は職が無く困っている同胞を助けるため、職業あつせん所をリトル東京に開設。忙しく

なりました。しかし、「一日も早くスキッドローの安ホテルから出たい」という母の強い要望から、父はメキシコ人が多く住むロスのイーストサイドでドライクリーニングの仕事を開始。何もかも一からやり直しとなったのです。強制収容時、私はまだ小さかったので、不自由な事もありましたが楽しい事もありました。収容に至った経緯や両親の葛藤、苦痛や困難など、あの頃は知る由もありませんでした。強制収容の全てについては、後に父から教わったのです。ティーンエイジャーになった私は、夕食後に毎晩のように父と議論を交わしました。その時私たちが話していたのは、後に調査委員会が結論付けることになる「戦時中のヒステリー」「日本人に対する人種差別」「政治的な指導力の欠如」が原因だという話とほぼ一致するものでした。父はまた、アメリカの民主主義が世界で一番優れていると言いましたが、参加型の民主主義は、支える人民次第であるからこそ弱点もあることを教えてくれました。その失敗の典型的が日系人の強制収容だったということも…。私は中学校では生徒会の会長になったり、青少年赤十字のボランティアとして活発に活動したりしました。また、選挙権を得る前から政治活動に参加し、日系人の権利向上に努める団体にも入りました。そして 1981 年、私はロスで開かれた連邦議会の日系人調査委員会公聴会で証言をしたのです。そのかいがあって、1988 年にレーガン大統領が公式に謝罪し、生存している元収容者一人当たり 2 万ドルの賠償金支払い案に署名。父は既に他界していましたが、母からは「父はきっとこの時が来ると信じていた」と聞きました。私はその賠償金を全米日系人博物館(JANM)設立のために寄付しました。私たちの使命に終わりはない。書籍、演劇、講演など、日系人強制収容の悲劇を訴え続けていますね。80 年余りたった今もその体験を語ることは武井さんにとってどのような意味がありますか？ 私は幸い、俳優、語り部、そして執事という才能を授かりました。より広く、人々に日系人に起こったことを語り続けることが私の使命です。2 年前の春、ロンドンで日系人強制収容を描いたミュージカル「アリージャンス〜忠誠〜」を 4 カ月間上演しました。親が子供に読み聞かせる児童書「My Lost Freedom」は昨年出版されたばかり。子供たちが過去に日系人に起こったことを自発的に調べる様になってくれることを願います。それ以前には、書籍『〈敵〉と呼ばれても』(日本語訳版あり)を共著しました。マンガ形式を採用したのは、若い世代に興味を持ってもらいたかったからです。日系人の中には、「強制収容は日本の真珠湾攻撃がきっかけになった。日本にも責任がある」と主張する人もいます。これについては、どう思われますか？ 戦争に至るまでには、日本

が置かれた状況があったでしょうし、日本は戦争責任を果たしたと思います。確かに、日本には特別な思いがあります。私の父は山梨県生まれで、母も広島で教育を受けていました。私も大学時代に上智大学に1年間留学して、富士山の登頂を経験しています。また、これまでも何回も訪日しています。しかし私は米国市民です。日本の戦争責任ごどうこう言う以前に、日系人強制収容は米国政府がした事です。米国が行った行為について、米国市民として、私はその責任を追求したまでの事です。

—毎晩のように続いた夕食後の父との議論で—
(父)アメリカの民主主義が一番素晴らしいんだ。
(ジョージ)父さん、よくそんなこと言えるね！あんなにひどい目に遭わされたじゃないか！
(父)ルーズベルトは多くの偉業もなした。でも過ちも犯した。そんな経験があっても、それは人民の民主主義で…人民は偉業をなせるから…
(父)この民主主義は人民のために存在している。民主主義には素晴らしい可能性があるが、人間と同じくもろく崩れ去る可能性もあるんだ。
最後になりますが、民主主義の維持や平和構築を考える時、個人のレベルでは何が出来るでしょうか？秘話とは、崇高な言葉ですが、言うは易く行うは難し。平和にはいろいろな要素が含まれています。民主主義が成り立つには、高度な教育を受けた教養のある市民の存在が不可欠。市民が権利を主張するばかりでは民主主義は成り立ちません。知識を持って、民主主義を理想ではなく、実現していかなければならない。そういう意味で教育が大変重要です。先ほど、ロータリーでも教育のためにお金を出したり、奨学生を育てたりしていると聞きましたが、それは教養ある市民を育成するために極めて重要な事です。私は、演劇の修士号を持っていますから、大学で教壇に立つ事もできます。執筆も大好き。ですから、米国の民主主義の大きな過ちを体験した者として、これからも証言し続けたいと思います。スタート・レックを作ったジーン・ロッデンベリー監督は、私たちみんなと一緒に協力し合う姿を想像することをとても楽観的に考えました。私もその楽観主義に共感すんです。私は再び世界が団結し、協調して働く姿を見たいと思います。今、民主主義は、正しい情報を判別できる教育を受けた国民の存在にかかっているといえるのです。
以上で私の卓話を終わりたいと思います。皆さん各自で色々と考えてみて下さい。有難うございました。

● 幹事報告

森本芳宣君



◀ 回覧 ▶

- ・2025-26 年度版 R 手帳予約受付

◀ 報告 ▶

- ・本日、回覧にて「2025-26 年度版 R 手帳」の予約を募っていますが、R の友事務所より、昨年度は、¥660(税込)にて販売し

ていたのが ¥880(税込)に価格変更の連絡がありましたので、予約される方々にはご了承のほどお長居します。

- ・本日の配布案内「春の親睦旅行」及び「第1回和歌山北 RC ゴルフ会コンペ」ですが、LINE 等での申し込みは受け付けませんので案内にてお返事下さい。

◀ その他 ▶

- ・次回の例会は、2/17(月) 12:30~13:30
ダイワロイネットホテル和歌山 4F にて
新会員卓話
「編集長から見た和歌山ラーメン史」
大橋二也(おおはし つぐや)会員

🎂 2月お誕生日お祝い 🎂



2月12日 田邊昌也会員

2月23日 渡邊孝富会員

～🎂お誕生日おめでとうございます🎂～

♥ ニコニコ箱 ♥

- ・ニコニコ箱募金。
田邊昌也君 森本芳宣君 岡田明久君
- ・卓話致します。よろしくお願ひします。和田耕司君
- ・ニコニコ箱募金。寺本尚弘君
- ・ニコニコ箱募金。渡邊孝富君
- ・和田会員、卓話宜しくお願ひします。岡田明久君
- ・ニコニコ箱募金。大橋二也君
- ・ニコニコ箱募金。森 勇樹君
- ・誕生日自祝。田邊昌也君 渡邊孝富君
- ・妻誕生日。山下茂男君

😊ご協力頂き有難うございました😊